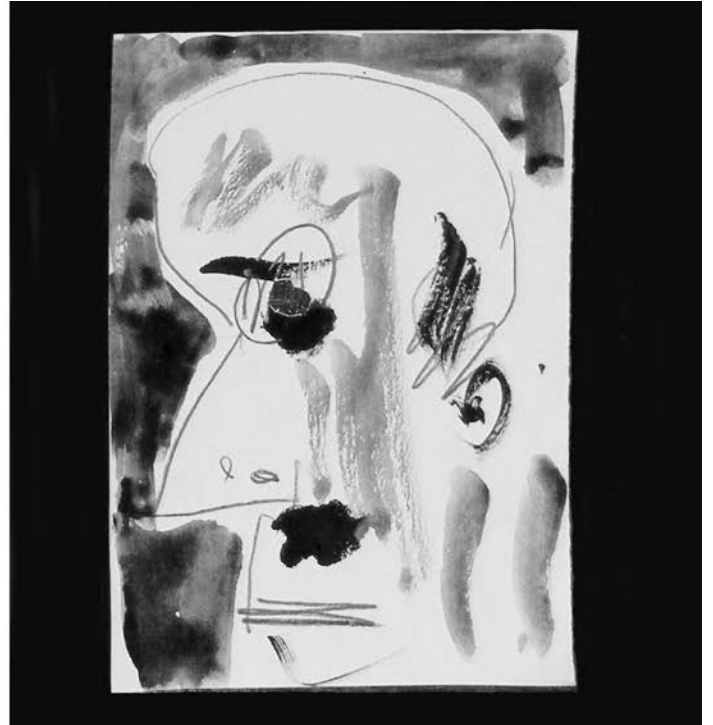
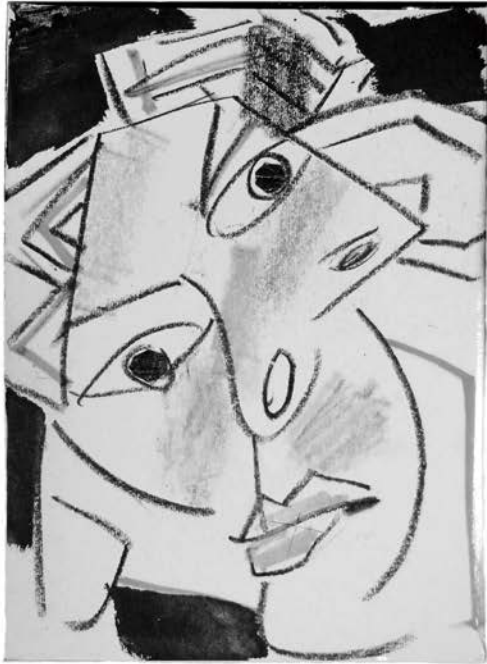


## 堀尾貞治個展



あたりまえのこと A Matter of Course

### 存在には理由はない

Opening Performance: 9月2日(土) 16時～

ギャラリーあしやシュールでは、9月2日(土)より9月30日(土)まで、堀尾貞治による作品展「あたりまえのこと～存在には理由はない」を開催致します。

1966年から、戦後の前衛美術運動をリードした具体美術協会のメンバーとして活動を始めた堀尾貞治。

1985年頃から続けている「あたりまえのこと」シリーズを通して、目に見えないが確かに存在する「空気」を表現する試みを継続してきました。それは、時間の連続性を問いながら、見えるものと見えないものを視覚化する試みでもあり、存在は空隙(Void)であると同時に深淵であることを、毎日の生活の延長線上にある行為の中に知らしめてきました。

近年の活動としては、「Frankfurter Positionen ATARIMAE-NO-KOTO」(ドイツ・フランクフルト 2011)

「Explosion! Painting as Action」2日間のパフォーマンス(スウェーデン・ストックホルム 2012)「Sadaharu Horio」(Axel Vervoordt Gallery 香港 2015)の個展をはじめ、「THE SPIRIT OF GUTAI: HORIO and MATSUTANI 展」(ドイツ・フランクフルト 2011)、『『具体』ニッポンの前衛 18年の奇跡展」(国立新美術館・東京 2012)、「Gutai: Splendid Playground」(グッゲンハイム美術館、ニューヨーク、2013)、「TAPIES: The eye of the artist 展」フォルトゥニー博物館(イタリア・ヴェネツィア 2013)、「ThinkTank lab Triennale: Two Sticks /ヴロツワフ建築美術館」(ポーランド・ヴロツワフ 2015)、「アートフェア 2016BAMA」(韓国・プサン 2016)、「Process, Performance, Presence/ブラウンシュヴァイク・アートセンター」(ドイツ・スヴァイク 2016)、「A Feverish Era in Japanese Art」(BOZAR CENTRE FOR FINE ARTS、ブリュッセル、2016)など、活躍の場を広げています。

本展開催期間中、京都・二条城並びに京都芸術文化センターを舞台に開催される、東アジア文化都市 2017 京都 アジア回廊「現代美術展」(2017. 8. 19-10. 15)に参加致します。

- 1939 神戸市に生まれる
- 1965 具体美術協会会員となり、1972年解散まで参加
- 1985 「あたりまえのこと」のテーマのもとに活動を続ける。

## 個展

- 1966 信濃橋画廊（大阪）
  - 1987 「今日の作家シリーズNo.20堀尾貞治展」（大阪府立現代美術センター・大阪）
  - 2000 「あたりまえのこと 神出鬼没」（御殿山美術センター・大阪）
  - 2001 「あたりまえのこと 白紙に戻す」（ナノ・リウム・山梨）
  - 2002 「あたりまえのこと」（芦屋市立美術博物館・兵庫）
  - 2006 「マイ・ルール展」（ボーダーレス・アートギャラリーNOMA・滋賀）
  - 2011 「Frankfurter Positionen ATARIMAE-NO-KOTO」（ドイツ・フランクフルト）
  - 2012 「Explosion! Painting as Action」二日間のパフォーマンス（スウェーデン・ストックホルム）
  - 2014 「あたりまえのこと 今」（BBプラザ美術館・兵庫）
  - 2015 「Sadaharu Horio」（Axel Vervoordt Gallery・香港）
  - 2016 奈良・喜多ギャラリーで1000点以上の絵画制作
- 他個展多数

## グループ展

- 1957 「第10回芦屋市展」以後連続出品（兵庫）
- 1964 「1964京都アンデパンダン展」以後連続出品（京都市美術館・京都）
- 1965 「具体新人展」（グタイピナコテカ・大阪）
- 1967 「第4回国際青年美術家展」（東京）
- 1970 「万国博覧会（みどり館・美術館庭「ガーデン・オン・ガーデン」）」（大阪）
- 1972 「第1回芦屋ビエンナーレ」（兵庫）
- 1973 「日韓現代彫刻展」（兵庫）
- 1976 「アート・ナウ1976」（兵庫）  
「1976京都ビエンナーレ」（京都）
- 1979 「実験34人の方法と展開」（京都）
- 1981 「アート・ナウ1970～1980 WATERBAG&棒」（兵庫）  
「空間—知覚の拡がり展」（京都）
- 1982 「明日の美術館を求めて—美術劇場」（兵庫）
- 1983 「離脱の空間展」（名古屋市美術館・愛知）  
「第4回大阪現代アートフェア」（大阪）
- 1986 「Crossing'86Japan-Hawaii—日本、ハワイ現代美術交流展」（東京）  
「第4回大阪現代アートフェア」（大阪）
- 1987 「今日の作家シリーズNo.20」（大阪）  
「ARTISTSCAMP87」（高松市立美術館・香川）
- 1988 「物十物展」（東京・韓国）  
「位置展」（姫路市立美術館・兵庫）  
「スクエア展」（倉敷市美術館・岡山）
- 1989 「墨の世界展」（滋賀）
- 1990 「兵庫の抽象3人展」（兵庫）
- 1992 「具体美術協会の作家たち」（宮城県立美術館・宮城）

- 1993 「第1回六甲アイランド(FW・F・O・A・P)」 (兵庫)  
「Gutaisuite?展」 (フランス・トゥールーズ)
- 1994 「丹南アートフェスティバル」 (福井)  
「心の時代 彫刻と造型」 (新潟)
- 1996 「アート・ナウ'96ー在ることの根源へ」 (兵庫)
- 1997 「発信する現代美術 WE ARE HERE AGAIN」 (東京)
- 1998 「MATSUTANI & HORIO展」 (フランス・トゥールーズ)
- 1999 「ゲーム・オーバー展」 (ワタリウム美術館・東京)
- 2002 「未来予想図～私の人生☆劇場～」 (兵庫県立美術館・兵庫)
- 2005 「横浜トリエンナーレ」 堀尾貞治&現場芸術集団「空気」 2日間のパフォーマンス (神奈川)
- 2006 「マイ・ルール展」 (ボーダーレス・アートギャラリーNO-MA・滋賀)
- 2007 「呼応する精神」 (カールトン大学・カナダ)
- 2008 「第1回姫路城現代美術ビエンナーレ2008展」 (兵庫)
- 2009 「InFunitum展」 パフォーマンス・フォルトゥニー博物館 (イタリア・ヴェネツィア)
- 2011 「THE SPIRIT OF GUTAI: HORIO and MATSUTANI展」 (ドイツ・フランクフルト)
- 2012 「「具体」ーニッポンの前衛18年の軌跡展」 (国立新美術館・東京)
- 2013 「Gutai: Splendid Playground展」 (パフォーマンス、グッゲンハイム美術館・ニューヨーク)  
「TAPIES: The eye of the artist展」 フォルトゥニー博物館 (イタリア・ヴェネツィア)
- 2015 「Art Brussels 2015」 (ベルギー・ブリュッセル)  
「ThinkTank lab Triennale: Two Sticks / ヴロツワフ建築美術館・ポーランド・ヴロツワフ」
- 2016 「アートフェア 2016BAMA」 (韓国・釜山)  
「Process, Performance, Presence/ ブラウンシュヴァイク・アートセンター、ドイツ・ブラウンシュヴァイク」  
「A Feverish Era in Japanese Art (オープニングパフォーマンス)」 (BOZARブリュッセル美術センター・ベルギー・ブリュッセル)